要望事項 (優先順位 4)

家庭ごみ(生ごみ)の戸別収集

要 旨

松ヶ崎学区の大半の地区は指定されたゴミ集積場所に家庭ごみを出す収集方式がとられていますが、一部の地区では生ごみの戸別収集(2軒単位)が行われておりません。集積場所に隣接している住民にとっては目の前に山積みになる生ごみは不快であり、集積場所の撤去を求める声も上がっています。一部住民の負担軽減のためのカラスネット等の片付けの当番制(ゴミ当番)をとっている地域もありますが、古くから生活している住民は高齢化し、ゴミ出しやゴミ当番が難しくなる一方、新しい住民は、地域とのつながりが希薄で新旧住民のトラブルの原因ともなっています。

以前、まち美化センターに生ごみの個別回収を申入れた際、収集車のコース変更ができないために、戸別収集はできないと回答されていますが、一部地域では、集積場所の撤去に伴って戸別回収が導入されているところもあります。

首都圏や大阪などの都市部では、以下のような目的で戸別収集方式が導入され、家庭ごみの減少、景観の改善などの効果が出ているとの報告があります。(毎日新聞平成30年2月3日)

- ・排出者が明確になり、ルール違反のゴミが減少する。
- ・ゴミ置き場をめぐるトラブルが減少する。
- ・集積場所に出したら終わりだったゴミに対する意識が変わる。

一部の住民にのみ恩恵を与えるのではなく、公平に戸別収集等によるゴミ収集が行われることを強く要望します。

回 答**(環境政策局)**

現在、京都市では市民の皆様にごみを所定の収集場所にお出しいただき収集する「定点収集」を推進しております。

あわせて、これまで午後にも収集していた燃やすごみについて、平成28年10月からすべて午前中に収集し路上等での滞留時間を短くすることで、臭いやカラス等による散乱防止を図っております。

各戸収集につきましては、定点収集に比べて作業時間が長くなることで、午後からの作業が必要となり、上記の施策を継続することが困難になる等の影響を受けるため、現時点では実施しておりません。

今後とも、限りある機材・人員を最大限活用し、効率的な収集に努めてまいりますので、何卒御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。